

2019年度金城こども園の自己評価

金城こども園

1、教育・保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育教諭一人一人が、金城こども園の保育理念・教育・保育方針を理解している。	4	採用時や全体研修などで理事長・園長より具体的に伝えている。
2	金城こども園の教育・保育方針を理解して教育・保育計画が立てられている。	4	園の全体的計画から各年齢の年間計画 月案、週日案へと繋げて作成している
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	4	園内研修やリーダー一会中堅会の中で、意見交換するようにしている。
4	一人一人の主体性を大切に保育をしている。	4	子どもの遊びが確立できるよう遊びを選択できるよう工夫し、思いを実現できる環境構成に努めている
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	3	保護者参加型の行事を多く取り入れ、子どもの成長の姿が感じられるように工夫している
2、教育・保育計画・指導計画			
1	教育・保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や教育・保育計画を立てている	4	認定こども園教育保育要領に基づき、全体的な計画、年間計画を立て那覇市より指導を受けている
2	教育・保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	3	週案会議を持ち現在の姿と計画を照らし合わせ見直しをしながら行っている。
3	現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた教育・保育計画を立てている。	3	集団の中で個性を発揮できるよう、個別の振り返り申し送り等を行っている。
4	配慮の必要な子には、その子に応じた教育・保育計画を立てている。	3	特別支援を必要とする子は個別支援計画を作成し対応し、発達の気になる子に対して個別配慮をしている
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	3	食育年間計画を立てて、それぞれに年齢に応じた体験が出来るように実践している
2	調理士、保育教諭等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	3	毎月1回、給食会議を開き、各年齢の給食状況や食育活動の様子など意見交換をしている
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	4	地元の青果店から食材を取り入れ、また子ども達が植栽した野菜なども活用している
4	給食やおやつは手作りをしている。	4	自園調理を行っている
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	4	役割分掌・業務分担表作成し、担当職員が先頭になって全員が参加できるよう連携を取っている
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	3	全体研修で、危機管理マニュアルを読み合わせ、心肺蘇生訓練・避難訓練等を実施している
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	4	役割分担された業務を行い、企画書や報告書を提出している
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	3	年間研修計画を立てて実施している。園外研修は個人面談等によりそれぞれの課題に合わせた研修を行っている
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	4	毎月2名体制で、安全点検項目を設け定期的に点検を行っている
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	3	登降園時に積極的に、挨拶・声かけを行い話しやすい雰囲気づくりを心掛けている
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	3	子どもの生活の様子を、園のブログを活用して伝え、園児が自ら話せるように努めている。
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	4	園の重要事項説明の中で個人情報の取り扱いなどの了承を得て、漏洩に気をつけている
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	3	保護者の思いを理解するように努め丁寧に対応するように心がけている
6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	3	園庭開放を行い、見学に訪れた親子へ案内したり、情報提供をしたりしている
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	3	園児以外の幼児にも園庭で遊べるよう、開放をし交流ができるようにしている。

3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	4	意見要望や相談受付窓口を設けているが、現在の所相談事例がない
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	3	ホームページを開設している
7、小学校や地域社会との連携			
1	定期的に小学校と交流を行っている。	4	毎月校長先生との対話やお便りの交換・職員の交流など積極的に行った。
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	3	1年生担任との交流・研修や地域保育園を交えんての意見交換会を開催した。
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	3	園児の祖父母を招くなど地域の高齢者との交流を図った。

4:よくできた 3:できた 2:一部改善が必要 1:改善しなければならない

こども園の自己評価 平均 3.448276 点

園全体の評価

金城こども園へ移管後3年がたち、理念方針に基づいた教育・保育活動が展開できている。職員も安定しているところから組織的な活動ができるようになり、クラス・役割を超えて連携が取れている。

園の周辺環境をうまく活用した、活動が展開でき園児も外遊び・室内遊びを主体的な活動として行えるようになった。これも、開園当初に入園した園児が3年たち園児から園児への遊びの伝承が出来ている成果だと感られる。

やはり幼児期の発達や生活の連続性の中、子ども達がこども園の生活自体を自らの生活として展開で来ていることにつながる。

行事に関して、保護者の意見を取り入れつつ保護者が参加する行事に関しては園内行事と合わせて取り組むなど保育教諭・保護者と負担軽減につながっている。また、運動会・発表会といった大きな行事でも過去2年間の経験を活かし、年度当初から取り組むことで練習漬けにならぬよう工夫して取り組むことが出来た。

会場設営に関しても、段取り良く行うことが出来、片付けに関しては保護者の協力のもとスムーズに行え保護者からの行事への協力を強く感じる事が出来た。

より保護者の理解を得られるよう、活動内容を開示したり配信を様々なツールを使い行うことが課題である。

小学校との接続に関しても順調に進み連携が取れている。以前から続く5年生による読み聞かせに加え、1年生担任との交流を5月6月7月8月とで行い。卒園児のケア・次年度に向けての取り組みのアイデアとして活用できた。また、特別な支援を要する園児・保護者に対し、小学校の特別支援コーディネーターとコミュニケーションをとり、保護者向けの講話・施設見学会を行うことで橋渡しを行った。

地域の祭りに参加したり、園庭を開放するなど地域の理解を得られるよう取り組んでいるが、地域の子育て支援への貢献はまだまだ取り組む余地があり、課題である。入園希望者のみならず地域に開かれた園となるよう子育てに関する情報を園外にへ発信できるよう掲示板等の設置を検討したい。